

「楽しい」と思える学校目指して

週に2日「ノー宿題デー」

長引くコロナ禍の中、愛知県岡崎市立六ツ美南部小学校（岩瀬章校長、児童659人）では、教職員の働き方改革や子どもへの学び方改革にも取り組んでいる。今回は、その取り組み内容を紹介する。

教職員の働き方改革に

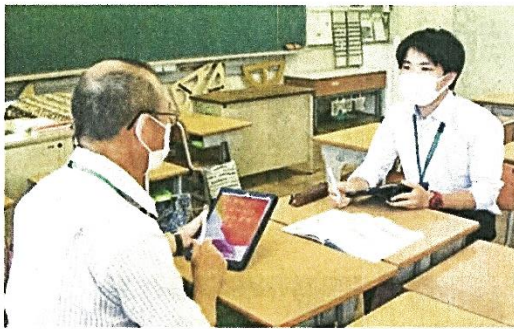
ゆとり生まれ、OJTも

岩瀬校長が同校に着任し、瀬校長。「やるなら徹底的に」と考え、週2日（水・金）初、教職員の多忙な姿が印象的だったという。主な要因は、教員一人の抱える仕事量が多かったこと。「何を充てることができ、学校とかして現状を変えなければ……」と思いつき、岩瀬校長は手だてを講じた。その根拠にあったのは、「素直な子どもたちと向き合い、自分の取り組みたい教育活動に専念してほしい」という思いだった。

校内の当たり前を変えるには大きな努力が必要になる。学級担任の負担を減らすと、「ノー宿題デー」などを取り入れるに当たり、教職員や保護者などへの丁寧な説明を重ねたという。

岩瀬校長が同校に着任し、瀬校長。「やるなら徹底的に」と考え、週2日（水・金）初、教職員の多忙な姿が印象的だったという。主な要因は、教員一人の抱える仕事量が多かったこと。「何を充てることができ、学校とかして現状を変えなければ……」と思いつき、岩瀬校長は手だてを講じた。その根拠にあったのは、「素直な子どもたちと向き合い、自分の取り組みたい教育活動に専念してほしい」という思いだった。

校内の当たり前を変えるには大きな努力が必要になる。学級担任の負担を減らすと、「ノー宿題デー」などを取り入れるに当たり、教職員や保護者などへの丁寧な説明を重ねたという。



研修などを通して一人一人の教員が着実に力を付けている（上）、対話を重視する授業でも端末を効果的に活用している（下）



児童間で対話、思考力培う

端末用いて学び方も改善

岩瀬校長。学校が楽しい」といふ心情を育んだ上で、友達との協働学習の良さを実感し、それから学習意欲の向上にもつながった。昨年度から夏休みの宿題も課題選は、同校の強みの一つだ。

こうした取り組みと並行して、着手したのが学び方改革だ。子ども同士の対話により、思考力を高める深い対話を通して、学年が総合的な学習の時間

岩瀬校長。学校が楽しい」といふ心情を育んだ上で、友達との協働学習の良さを実感し、それから学習意欲の向上にもつながった。昨年度から夏休みの宿題も課題選は、同校の強みの一つだ。

こうした取り組みと並行して、着手したのが学び方改革だ。子ども同士の対話により、思考力を高める深い対話を通して、学年が総合的な学習の時間

扱式に変え、子どもが自分で考えて取り組むスタイルになっている。

こうした取り組みを通じて、教員一人一人に子どもと向き合う気持ちの余裕が生まれた点は成果の一つ。それにより、若手が先輩に質問する姿が増え、OJTが自然と生まれているという。

ゆとりがなければ教員同士のコミュニケーションも難しい。経験の浅い教員たちが着実に力を付けている姿から夏休みの宿題も課題選は、同校の強みの一つだ。

同校は、市内でも児童数の多い大規模校の一つ。地域に代々住む家庭に加え、

出典：日本教育新聞

〈小学校・実践より〉
令和4年9月5日掲載

※記事、画像等の無断転載を固くお断りします。

4・43・2105
六ツ美南部小 2056